

住宅改修が必要な理由書

事業所名	町田市役所居宅介護支援事業所
担当名	〇〇 〇〇
理由書作成日	20×× 年 〇〇 月 〇〇 日
現地確認日	20×× 年 〇〇 月 〇〇 日

<基本情報>

被保険者番号	0 0 0 × × × × × × ×	フリガナ	ジュウカイ タロウ
		被保険者氏名	住改 太郎
要介護度	申請中（新規・区変）・非該当・総合事業対象者 要支援（1・2）・要介護（1・2・3・4・5）	有効期間	20×× 年 〇〇□月 〇〇□日 ~ 20×× 年 〇〇□月 〇〇□日
住居形態	☒ 持家 ☐ 借家 ※借家の場合には所有者の住宅改修承諾書が必要 賃貸契約を結んでいる住宅の場合、所有者の承諾書が必要です。	者の状況	☒ 在宅 ☐ 入所・入院中 （退院・退所予定日 年 月 日）
家族構成	☐ 単身 ☒ 同居（夫婦）・その他（ ）】		
住宅改修アドバイザーの助言の有無	☐ 有り ☒ 無し	住宅改修アドバイザー氏名	住宅改修アドバイザーによる施工業者図面確認日 年 月 日

<総合的状況>

身体状況					福祉用具の現在の利用状況と改修後の想定		
既往歴と今回の住宅改修が必要な疾病		本年5月に廊下で転倒。右大腿骨頸部骨折の診断で入院・手術する。2ヶ月間の入院により下肢筋力低下。骨折による可動域制限有。室内はゆっくりとすり足で移動。外出時、短距離は杖を使用し、長距離になると車いすを使用している。			・車いす ・特殊寝台 ・手すり ・スロープ ・歩行器 ・歩行補助つえ ・移動用リフト ・腰掛便座 ・特殊尿器 ・入浴補助用具 ・簡易浴槽 ・その他	改修前	改修後
☐ がん末期		糖尿病、高血圧の持病があり、月に1回通院。					
介護状況							
介助者	☐ なし	☒ 家族	☒ その他（日用品の買い物は週末に別居の長女が行う）				
立ち座り	☐ つかまらないでできる	☒ 何かにつかまればできる	☐ 一部介助	☐ 全介助			
移乗	☐ 自立（介助なし）	☐ 見守り等	☒ 一部介助	☐ 全介助			
座位保持	☐ できる	☐ 自分の手で支えればできる	☒ 支えてもらえればできる	☐ できない			
歩行	☐ つかまらないでできる	☒ 何かにつかまればできる	☐ 一部介助	☐ できない			
段差昇降	☐ つかまらないでできる	☐ 何かにつかまればできる	☒ 一部介助	☐ できない			
入浴	☐ 自立（介助なし）	☐ 見守り等	☒ 一部介助	☐ 全介助			
排泄	☐ 自立（介助なし）	☐ 見守り等	☒ 一部介助	☐ 全介助			
住宅改修により日常生活をどう変えたいか							
・移動時の転倒を予防することで一人のできることを増やし、妻の介護負担軽減を図りたい。 ・通所介護以外にも外出する機会を増やし、活動量の低下を防ぎたい。 ・自宅での入浴が負担なく、継続できる。					（ ）	☐	☐
					（ ）	☐	☐
					（ ）	☐	☐

2025/11/1

身体の問題点や介助の状況を具体的に記載してください。

改修箇所	改修内容	具体的	身体上の問題点や助助の状況を具体的に記載してください。	改修個所の状態	改修の目的及び効果
①玄関手すり	☒ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☒ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	・筋力低下により昇降動作の際に片足立位で体勢を保持できない。レンタル手すりを利用しているが、足が引っかかり前に倒れそうになる。 ・妻が体を支えながら動作を行うが、夫の体重を支えきれないことがある。	☒ 段差がある ☐ 支持物がない ☐ 滑りやすい ☐ 重い ☐ 低い・高い ☐ 細い・太い ☒ レンタル中だが身体に合わない ☐ その他	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒防止等安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
②踏み台設置（玄関）	☐ 手摺の取付 ☒ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☐ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	・骨折による可動域制限で足が上がりづらく、踏くことがある。上がり框の高さは24cmあり、レンタル手すりを利用しているが、段差が大きいので昇降に時間がかかる。	☒ 段差がある ☐ 支持物がない ☐ 滑りやすい ☐ 重い ☐ 低い・高い ☐ 細い・太い ☐ レンタル中だが身体に合わない ☐ その他	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒防止等安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
③廊下手すり	☒ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☐ 家族等の介護負担が大きい ☒ その他	・寝室とリビングの間の廊下は、ゆっくりとすり足で壁を伝って移動しているが、筋力低下により、しっかりと加重できる支持物がないと安定した移動が行えない。 ・以前廊下で転倒し、骨折したことにより、移動の際の不安が大きい。	☐ 段差がある ☒ 支持物がない ☐ 滑りやすい ☐ 重い ☐ 低い・高い ☐ 細い・太い ☐ レンタル中だが身体に合わない ☐ その他	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒防止等安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☒ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
④浴室折れ戸交換	☐ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☒ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☐ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	・開き戸の開閉時に体勢が前のめりになり、バランスを崩して転倒することがある。	☐ 段差がある ☒ 支持物がない ☐ 滑りやすい ☐ 重い ☐ 低い・高い ☐ 細い・太い ☐ レンタル中だが身体に合わない ☒ その他 浴室扉が内開き。シャワーチェアを置くと扉の開閉ができない。	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒防止等安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☒ その他 シャワーチェアを置くことができる。

2025/11/1

<住宅改修の内容>

被保険者氏名		住改 太郎		
改修箇所	改修内容	具体的	改修個所の状態	改修の目的及び効果
⑤トイレL型	☒ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☐ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	身体の問題点や介助の状況を具体的に記載してください。 ・立ち座りの際にペーパーホルダーにつかまっているが、加重ができず足に負荷がかかり痛みが生じている。	☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒防止等安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
⑥浴室L型	☐ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☒ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	・片足立位では体勢を保持できないため、支持物がないと一人で浴槽への出入りができない。 ・現在は妻の介助のもと浴槽の縁につかまりながら行うが、手が滑り妻とともに転倒しそうになる。	☒ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒防止等安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
⑦浴槽交換	☐ 手摺の取付 ☒ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☒ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☒ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☒ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他	・骨折による可動域制限で足が40cmしか上がらないため、またぎの高さが70cmある浴槽をまたぐことができない。 ・浴槽への出入りは妻が介助して行うが、夫の体重を支えきれないことがある。	☒ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒防止等安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他
	☐ 手摺の取付 ☐ 段差の解消 ☐ 床材の変更 ☐ 扉の取り替え ☐ 和式便器の洋式化 ☐ 浴槽の取り替え ☐ 流し・洗面台の取り替え	☐ 身体的な理由により動作を行うことが難しい ☐ 家族等の介護負担が大きい ☐ その他		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒防止等安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 家族等の介護負担の軽減 ☐ その他

※改修個所には、見積書に対応する番号を記載してください。